



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2075号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 プケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 栗原 達治 幹事 藤江 康儀



広重版画より 三島 朝霧

第2138回例会

2016.11.10晴

司 会

柴崎恵子君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 矢岸克行君

会長挨拶

会長 栗原達治君

改めまして、皆さま、こんばんは。

昨日、ドナルド トランプ氏がアメリカ合衆国大統領に選出されました。予想が外れた方が多数だと思いますが、今までの発言内容を聞いておきますと、今後の日米関係、TPP、安全保障の問題等、憂慮されます。(株価や、ドルはその後上昇したようですが)

さて、本日は臨時総会がございます。次年度理事役員の指名方法についてご審議いただくこととなりますので、よろしくお願いたします。

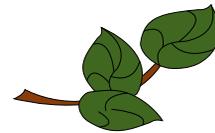
先日古い資料を見つけました。「三島西ロータリークラブのあゆみ そのⅢ」という文書で、35周年記念の資料だと思います。初代大場会長時代は、会員の平均年齢48歳、出席率は97.78%、会員数は40名でスマイルは約74万円、一番驚きましたのは、栗田年度、平成3年度で、なんとスマイル合計金額は約215万円に達し、会員数も69名、会員一人当たり年間スマイル金額は3万円以上になります。強制的にスマイルさせられたというお話もあるようですが、たいしたものです。ということで、米の収穫を無事終えたわたくしも、少しスマイルさせていただきました。

秋が来ないで、夏からすぐに冬になったような気候ですが、風邪など召しませんように、身体に気を付けてください。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	28/36	77.78%	32/36	88.89%
今回	28/39	71.79%	会員総数	47名

欠席者 石井(良)君、大石君、川名君、木村君、小島君、窪田君、佐野君、相山君、花房君、藤江君、森崎君



幹事報告

副幹事 宇田川茂君

理事会報告事項

- ①11月夜間例会について
- ②12月忘年家族例会について
- ③12月8日(木)クラブ協議会 上半期委員会報告
- ④例会場選定について
- ⑤地区大会11/19・20(土・日)20日バスにてグランシップへ
- ⑥臨時総会11/10

パスト会長(遠藤眞道・伊丹・遠藤正幸)

2016~2017年度
国際ロータリー会長
ジョンF.ジャーム

人類に奉仕するロータリー

おめでとう

会員誕生日 鈴木(郁)君
結婚記念日 西本君

スマイルボックス

◆栗原君、ようやく稲刈りが終了し、ひと段落つきました。収穫量は少なかったのですが、味はまあまあといったところです。また、11月2日の孫の七五三の食事会では、伊丹さんお世話になりました。ありがとうございます。

ROTARY NEWS

ロータリー財団100周年

2016-17年度に100歳の誕生日を迎えるロータリー財団。1世紀にわたり、世界中のロータリー会員による奉仕活動を支え、奨学金を通じて若者を支援し、ポリオ撲滅を実現に近づけてきました。

きれいな水と衛生設備の提供、疾病の予防と治療、平和と紛争解決、基本的教育の推進、経済と地域社会の発展は、いずれもロータリーが力を注いでいる分野です。これらの分野とポリオ撲滅において、ロータリー財団は重要な役割を果たしてきました。

2017年ロータリー国際大会

ロータリー財団100周年年度の記念行事は、韓国での2016年ロータリー国際大会で幕を開け、2017年6月10～14日にアトランタ(米国ジョージア州)で開かれる2017年ロータリー国際大会でフィナーレを迎えます。国際大会にぜひご登録ください。アトランタ国際大会では、次のような特別な機会が設けられます。

- ロータリー財団の100歳記念パーティーに出席する
- ロータリーの現・元リーダーと会い、著者デビッド・フォワード氏のサイン会でサインをもらう
- 友愛の家に設置される財団100周年展示を見る

卓話

ロータリー財団より

ロータリー財団委員長 橋本裕子君

1 ロータリー財団への寄付の重要性

寄付金は慈善的、教育的目的のためにのみ運営するものです。

教育の推進、きれいな水の提供、平和の構築、母子の健康の支援、地元経済の支援、疾病の予防のための補助金を通じて、ロータリー財団の使命を果たすことに多大な力を注いでいます。

世界中のロータリアンやほかの支援者から受け取った資金がロータリアンの懸命な努力と献身的な支援による自発的寄付であると認識しています。

2 財団への寄付について

ロータリーは、ガバナーが、地区ロータリー財団委員会、地区研修協議会、地区とクラブの財団セミナー、クラブ訪問などの正規の経路を通じて、ロータリアンとクラブによるロータリー財団への年次寄付の重要性を強調するよう提案しています。財団補助金の継続的な発展を支援するために、毎年、ロータリー財団の年次基金に寄付することがすべてのロータリアンに奨励されています。

金額を問わず、次の三つの基金に寄付することができます。

- 1) 年次基金は、財団の補助金と活動の主な資金源です。
- 2) 恒久基金は、その収益の使用可能な部分を財団の補助金と活動の支援に使うための基金です。恒久基金の目標は、最低限度の補助金活動を継続し、将来の新プログラムまたはプログラムの拡張を容易にしようとするものです。
- 3) ポリオプラス基金は、ポリオプラス・プログラムとポリオを世界から撲滅するという目標の支援のために授与されるすべての補助金の資金源です。

クラブ認証概要レポートが渡され、そこには各会員の寄付額が書かれており、地区等でランク付けされているとのことです。

今年の150ドルはぜひお支払い下さい。

又、多くのクラブは年会費に入れているとのことです。

3 その他

ロータリー財団100周年

(週報担当:遠藤真道)